

研究分野		授業科目名				科目責任者	
生化学系分野		機能病態分子学特論Ⅰ・Ⅲ				松田 純子	
開講年次	共通／専攻／選択			単位数			
1,2,3,4	特論Ⅰ：必須専攻, 特論Ⅲ：選択			特論Ⅰ：4(2/年), 特論Ⅲ：1/年			
目的							
「脂質生物学」, 「糖鎖生物学」, 「リソソーム異常と疾患」の研究領域における英文原著論文を読み, 研究課題の設定, 仮説の検証に必要な研究計画の立案, 実験方法の選択, 結果の科学的検証・考察能力を修得する。							
授業到達目標							
(1) 主な研究領域である「脂質生物学」, 「糖鎖生物学」, 「リソソーム異常と疾患」を概説できる。 (2) 教員による研究の進捗報告会および論文抄読会でのプレゼンテーションを見聞きし, 各種実験手技を理解し, 自身の研究課題に応用することができる。 (3) 自身で英文原著論文を紹介することにより, 読解力, 科学的・論理的思考力を身につけ, 自身の学位論文を作成できる。							
授業計画							
回数	月日	曜日	時間	担当者	区分1	区分2	授業内容
1	毎週	金	9:00-11:00	松田 純子	講義	[抄読会] [症例検討会]	研究の進捗報告と討論, 研究に関連する最新英文原著論文を紹介し, 考察・議論をする。 [場所:本館棟6階カンファレンス室12]
評価方法							
【特論Ⅰ】 (1) 1年間※で, 講義は30時間出席し, 科目責任者から履修手帳に出席印をもらい, 提出する。 (2) 1年間※で, 論文紹介または症例発表を2回行い, その要約2編を提出する。 【特論Ⅲ】 (1) 1年間※で, 講義は15時間出席し, 科目責任者から履修手帳に出席印をもらい, 提出する。 (2) 1年間※で, 論文紹介または症例発表を2回行い, その要約2編を提出する。 ただし, 特論Ⅰ・Ⅱで紹介したものと異なる論文(症例)であること。特論ⅠとⅢの同年度での重複受講は不可とする。 ※1～3年生は2月末まで, 4年生は11月末までの講義を当該年度の単位認定の対象とする。33頁:単位履修方法参照。							
課題(レポート等)に対するフィードバック							
(1) 論文紹介については, 内容の理解や紹介の仕方など改善すべきところがあれば指導する。また, 自らの研究との関連についても議論する。 (2) 要約は添削して返却する。必要があれば加筆・修正を加え問題点をフィードバックする。							
教科書							
ISBN-9780393884852, Molecular biology of the cell, Bruce Alberts, et al.; with problems by John Wilson, Tim Hunt, W.W. Norton & Company, 2022 ISBN-9781621824213, Essentials of glycobiology, Ajit Varki(Ed), et al., Cold Spring Harbor Laboratory Press, 2022							
参考書							
ISBN-9784758103114, リピドミクスや脂質イメージングによる局在・機能解析 分子から個体へと深化する脂質生物学(実験医学増刊 Vol.28-20), 佐々木 雄彦 他(編集), 羊土社, 2010 ISBN-9784758103312, 第三の生命鎖 糖鎖の機能と疾患〜がん, 糖尿病, 筋ジストロフィー発症との関わりからマーカー・合成法の開発, 技術革新まで(実験医学増刊 Vol.3・No.10), 門松 健治 他(編集), 羊土社, 2013 ISBN-9780128000793, Lysosomes and Lysosomal Diseases Volume126 (Methods in Cell Biology), Frances Platt (編集)・Nick Platt (編集), Academic Press 1版, 2015 ISBN-0387255621, Lysosomes, Paul Saftig(編集), Springer, 2006							
準備学習(予習・復習等)							
<予習> (1) 抄読会で取り上げる論文を約3時間程度前もって読んで出席すること。 (2) 自分が取り上げる論文については, 約30分程度のプレゼンテーションの準備をすること。 <復習> (1) 抄読会で取り上げた論文内容に関する疑問点を, 担当教員に質問, あるいは自身で調べて解決すること。 (2) 自分が取り上げた論文の要約を作成すること。							
修了認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連							
課題を探究し, 仮説立脚, 検証に至るまでの科学的・思考方法を熟知する。							
注意事項・メッセージ							
(1) 各自の研究テーマとの関連や応用の可能性を考えながら, 代表的あるいは最新の英文論文を読む習慣を身につけること。 (2) 論文は, Nature, Science, Cell, Immunity, Nature Medicine, Nature Genetics, Journal of Biological Chemistry, Journal of Clinical Investigation 等から優先的に選ぶこと。 (3) 自分が紹介する論文のPDFを1週間前に教室員に配付し, 発表当日はその要約をA4用紙1-2枚に要約して提出すること。							